

会 議 録

会 議 名	第 2 1 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 5 回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成 2 3 年 1 2 月 6 日 (火) 午前 1 0 時から 1 1 時 3 0 分		
開 催 場 所	公民館本館		
出 席 委 員	阿部委員、遠藤委員、末包委員、菅沼委員、福井委員、		
欠 席 委 員	野口委員		
事 務 局 員	渡辺社会教育主事、和田主任		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1 三者合同会議について 2 公民館事業評価について 3 主催事業の準備会開催について 4 その他		

司会 菅沼企画実行委員

それでは、三者合同会議の報告からお願いします。

1 三者合同会議について

渡辺（陽）： 三者の会議とは、公民館運営審議会、社会教育委員の会議、図書館協議会の会議です。11月25日午後2時から第二庁舎801会議室で開催されました。冒頭、公民館運営審議会の佐々木委員長より、議題の趣旨説明が行われました。次に、各委員長、議長から委員の紹介がありました。経過報告では、伊藤社会教育委員から、2011『『青少年のための科学の祭典』東京 in 小金井』の報告がありました。科学の祭典で公運審からは、公民館での子ども対象の講座PR展示がありました。「月刊こうみんかん」に報告記事が掲載されていますので、参照ください。それぞれの展示の意義とともに、各委員が協力してイベントをつくっていくということにも意義があるということでした。討議のテーマは、「情報ネットワーク」でした。本川社会教育委員の会議議長から、経過と意義についてのお話がありました。平成19年7月に「小金井市地域教育会議」にかかわる提言が出されたことは、皆様ご存じだと思うのですが、活動に関しまして、「関係団体のネットワーク化による情報収集・整理・再発信機能」や、「地域人材の育成と人材バンク機能」ということが指摘されています。また、平成23年8月に第25期社会教育委員の会議纏めとして出されました、『『小金井市生涯学習支援センター』創設に向けて』に触れて、今回のテーマ情報ネットワークの必要性とその背景についての報告がありました。この報告を通して、情報ネットワークの問題が、単なる情報データベースのシステムづくりのことでなく、生涯学習の活動の拠点づくりの問題に深くかかわりがあることについて意識の共有が出来たようでした。

菅沼委員：『『小金井市生涯学習支援センター』創設に向けて』は、三者合同会議で配られたものですか。

渡辺（陽）： はい、第30期小金井市公民館運営審議会活動報告と併せて、資料として配布されたものです。報告のあと、藤井公民館運営審議会委員より、問題提起があり討議に入りました。（仮称）貫井北町地域センターについても生涯学習を進める上で、モデル的な情報発信と検索ができるようになればというお話がありました。全体として、各会議で一步ずつ議論を蓄積するとのことでしたが、図書館協議会委員の委員がかなり代わられたこともあり、情報ネットワークにかかわる理解の共有化を大切にしたい会議であったということでした。

福井委員：（仮称）貫井北町地域センターは、お話の中の小金井市の生涯学習センターの拠点機能として期待されているという

お話でしたか。

渡辺（陽）：そういうお話は、ありませんでした。しかし、地域センターは、どこも生涯学習・社会教育の活動拠点として期待されています。（仮称）貫井北町地域センターも開設されれば、そこが市の中心ということではないにしても、地域センターの一つとして、情報端末や固有の地域情報発信拠点として機能するとともに、モデル的いろいろな可能性を追求する場であって欲しいという期待が感じられる会議でした。

2 公民館事業評価について

司会：成人大学講座について、評価してみようということですので、渡辺さんの評価をたたき台として、担当企画実行委員から意見を出す方法で進めます。

渡辺（陽）：当初、企画実行委員の会議で決まりましたテーマと講師の案が食い違うということがありました。講師の案が、これまで取り上げてこなかったテーマであり、それはそれで大切な課題であったので、最終的にその方向で実施しましたが、そのことが問題として残ったような気がします。

末包委員：他の講座は、準備会を行って企画を決めていますが、この成人大学だけは、そうになっていません。職員にまかせるのではなく、そういう時も担当企画実行委員と職員で話し合っ解決することが大切です。

福井委員：これまで、成人大学は応募人数が相当多かったわけですから、テーマを変えたことが影響したことも考えられます。

渡辺（陽）：実施後の評価のことですが、本館の講座全体としては、講座を契機に今後につなげていくことを前提にした講座もありますし、この成人大学のように、そうではなく専門的な課題を学ぶことを主眼とした講座もあります。そのような位置づけの違いがありますので、この講座だけ取り上げて、学習の継続を問われるとちょっと困るのですが・・・。

福井委員：次の成人大学につなげてくという意味もありますので、これはこれで意義があるのではないのでしょうか。

菅沼委員：それでは、総合評価でBという声が多かったようですので、それでよろしいでしょうか。

（賛同される）

3 主催事業準備会の開催について

司会：それではシルバー大学の準備会についてお願いします。

和田：市報2月15日号の市報に掲載して2月22日水曜日午前10時からです。

	<p>司会：次に子どもの人権の準備会についてお願いします。</p> <p>渡辺（陽）：子どもの人権講座の最後に車座トークを行いました。その際、準備会開催を早めて欲しいという意見が出されました。準備会の皆様の予定もばらばらですが、月曜日の午後の希望が多いようです。例えば、2月13日午後3時30分からは、いかがでしょうか。</p> <p>阿部企画実行委員：調整してみます。</p> <p>4 その他</p> <p>渡辺（陽）：塾議について報告を頂ければと思います。</p> <p>福井委員：12月3日、東京学芸大学において、塾議2011が開催されました。統一テーマは、「子どもの豊かな学びと育ち～私たちにできることってなんだろう」でした。サブテーマは、Ⅰ子どもと学び、Ⅱ子どもと安全、Ⅲ子どもの未来と仕事で、11のグループに分かれて、ワークショップ形式で論議しました。地域団体、NPOの人、学校関係者、市の職員、文科省、大学など多くの関係者が参加しました。人気のあったサブテーマは、「子どもと学び」でした。</p>
--	--